

### 第3章 北陸本線（敦賀～福井）

今回の歩きは、10日位前から、北陸本線の旅、上越線の旅、大井川鉄道の旅など色々考えたが、北陸本線の旅に決定する。



2019年6月5日（水）から2泊3日のプランで、下記の北陸本線の踏破の旅に挑戦する。6月7日（金）の天気予報は雨マークであったため、敦賀から福井までの歩きを2日間で踏破するよう調整し、3日目は観光専用とする。このため、復路の福井からのしらさぎ発車時刻を17時36分から13時36分と4時間繰り上げる。

今回も敦賀から福井までである11駅舎の立ち寄りに成功し、嬉しい限り。これで2000年5月から始めた鉄道通算営業キロは1万183kmに到達(活動日数502日)。この結果、米原～長浜～敦賀～福井～金沢までの北陸本線(176.6km)の踏破を完成。同時に石動から糸魚川まで(113.7km)歩けば、かつての米原から直江津まで北陸本線の踏破(353.8km)が完了する。近いうちに達成したいものである。

加えて、1973年大学時代友人宅訪問の際、参拝した永平寺も観光できる機会を得て、天や神に感謝あるのみ。また、5日と6日の夜は、ホテル界隈の居酒屋”弥吉”で郷土料理と地酒を堪能でき充実した旅であった。あたかも自分が”吉田類の酒場放浪記”に登場しているかのような心境にさせて頂いた。



## 第1節 旅プラン

○2019年6月5日(水) 晴れ

ひかり 503号 新横浜 7:52 → 米原 9:44

乗り継ぎ しらさぎ 3号 米原 9:56 → 敦賀 10:25

敦賀～南今庄 (16.6 km)

南今庄 16:55 → 福井 17:34



東横イン福井駅前泊 0776-29-1045

○6月6日(木) 晴れ

福井 7:42 → 南今庄 8:21

南今庄～今庄～湯尾（ゆのお）～南条～王子保（おうしほ）～武生（たけふ）  
～鯖江～北鯖江～大土呂（おおどろ）～越前花堂（はなんどう）～福井  
東横イン福井駅前泊

○6月7日（金） 雨

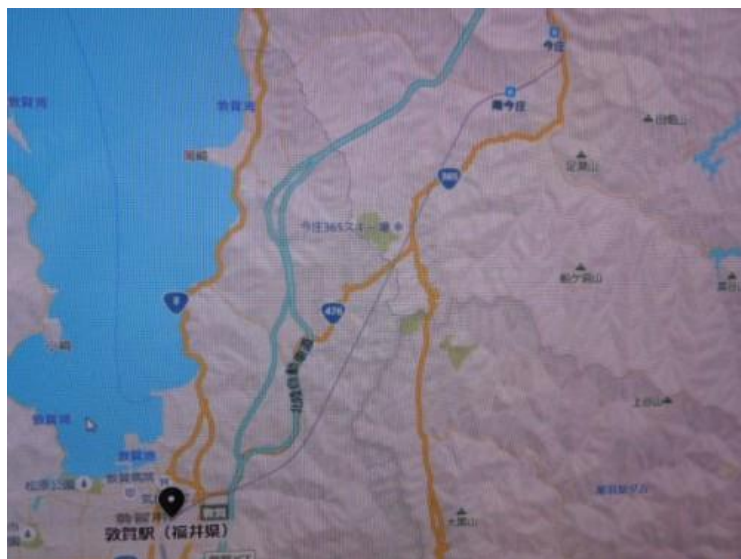
曹洞宗大本山永平寺参拝

京福バス 福井駅東口～一乗谷朝倉氏遺跡～永平寺

しらさぎ 60号 福井 13:36 → 米原 14:45

乗り継ぎ ひかり 524号 米原 14:57 → 新横浜 16:52

## 第2節 1日目：6月5日（水）：敦賀～南今庄 晴れ



※敦賀駅～南今庄駅～今庄駅境界の地図

2019年6月5日（水）、北陸の旅の皮切りは、北陸本線である敦賀駅から南今庄駅までの営業キロ16.6kmに挑戦する。昨日は平成30年度の“みどり生命保険優績代理店表彰式”があった。また2次会の大川さん、落合さん、伊藤さんと軽く懇談した。それ故、多少2日酔いで臨むこととなった。本日からコースの勉強や時刻表のコピーは事前に用意していたし、身支度の概ね終えていたので、本日の旅行もスムーズに執行できた。少し寝不足気味であったが、3時半頃起床し、本日から旅行をカッシー館に予告

投稿してから挑戦する。6時40分頃家内に中央林間駅まで送ってもらう。そして、新幹線としらさぎを乗り継いで敦賀駅に向かう。米原駅で駅弁を購入。昼食には早いですが、しらさぎの車内で駅弁（幕の内弁当）を購入し頂く。実をいうと、到着時刻を1時間間違えていた。10時25分のところ、11時25分と勘違いしていた。それ故、駅弁を購入したのである。しかも、数年前、米原から敦賀まで踏破した際の道筋が懐かしく、その記憶を思い出しながら楽しむこともできた。しかし、踏破した駅舎名は一部を残し忘却の彼方となっていた。記録の大切さを改めて痛感した。

この区間は、山間があり鉄道（大半がトンネル）と幹線道路が並走しておらず、路に迷わないよう予めインターネットで印刷した地図を逐次見ながらの歩きとなった。ネットによると、南今庄駅までは”海岸線周りの歩き”と”山間周りの歩き”があったが、色々検討した結果、後者のコースを選択する。「鉄道つたい歩き」により近いことと距離が前者に比べ2から3割ショートカットされると判断したからである。結果的に大成功であった。



新横浜駅、米原駅（しらさぎ3号）



しらさぎ3号で駅弁      懐かしい敦賀駅



敦賀駅

山間が続く路線であったので、同じような風景を何度も繰り返しながらの歩きとなった。一方では涼しい木陰（道路上の表示温度 25℃位）も多々あり助かった。主として国道 476 号、国道 365 号そして県道 207 号を歩き南今庄駅に向かう。このような単調の歩きは、2015 年 6 月 26 日（金）、宗谷本線の佐久駅から箴島（おさしま）駅までの営業キロ 18 km を思い出した。この時は天塩川に沿った歩きで 5 時位歩きと小走りを併用しながら黙々と進んだ。歩いて歩いて目的に到着できなかった。今回の歩きは、それ以来であったので懐かしくも感じた。しかし、実質的な歩きでは、宗谷本線よりは長かったような気がする。感覚的には 25 km 位あったのかも知れない。今庄 365 スキー場から少し行った先の板取（14 時 37 分）から JR 今庄駅まで 8 km ある道路標識には驚いた。



北陸新幹線拡張工事

国道 476 号に合流

悪戦苦闘を繰り返しながら、目標の南今庄駅にはやっと16時53分到着。運よく16時55分発の福井行の電車に間に合う。次のダイヤは18時5分であったので。それにしても敦賀駅界隈は山間で囲まれた区域でこのエリアから飛び出すには大変。2013年9月6日（月）に歩いた敦賀駅から新疋田（ひきだ）駅の区間を思い出したこともある。この時も今回の歩き（県道207号の区間）と同様少し戻る区間があったから。加えて、敦賀駅は初めて踏破した日本海沿線への拠点駅であったので印象深いものがあった。事前勉強した結果、時間は相当要したが、迷うことなく進むことができ、大満足。敦賀駅構内の観光案内所に立ち寄ったのがよかった。親切な対応の他、詳細な地図を頂いたのスムーズに国道476号に合流できたからだ。



南今庄駅、やっと辿り着いた自動販売機（16時30分）

本日の歩きで強く印象に残ったことは、山また山のため水分補充をしたかったが、沿線には自動販売機の姿は全くなし。宗谷本線などを思い出す。それ故、4時間位残り少ないペットボトルを少しずつの飲みながら凌ぐ。207号に出るや否や自動販売機があり安堵する。最高に美味しい水を堪能する。改めて水の有難さを痛切に感じる一日でもあった。

夜は、ホテルのお薦めの店”弥吉”で郷土料理と地酒を堪能し一日の疲れを癒す。旅は楽しいものである。

詳細な歩きの足跡は以下の通り。10時25分、敦賀駅に到着するや否や、駅前を種々のアングルから撮影。駅舎の壁には、北陸新幹線の完成の路線図があった。「福井恐竜王国」の看板も目についた。念のため敦賀観光案内所で南今庄駅までの行き方を聞いてから臨む。私のプランと同様、「山間の方がベターとのこと」で本日の歩くコースが決定する。駅前から国道476号に出るまでが複雑であったが、詳細なガイドマップを頂き、迷うことなく対処できる。感謝感激。駅前には色々観光スポットがあったがパスす

る。10時43分南今庄駅に向けてスタート。10時51分、舞崎町交差点を通過。10時53分、敦賀市立水道舞崎浄水場前を通過。10時56分、北陸新幹線、敦賀駅高架橋他前を通過。11時1分、2両編成の電車と対面。そして、11時7分、特急電車とも対面。これから結構特急電車と遭遇する機会が多くなる。11時13分、前方に北陸自動車道がある。この高速道路を潜るや否や、鉄道は長い長いトンネルで姿を消す。現わすのは、南今庄駅へ向かう交差点となる。それ故、鉄道案内人が不在の歩きとなる。国道476号を歩く。11時21分。金鶏山湯山寺前で本日の安全を祈願する。高速道路に沿って歩く。11時25分、敦賀市榎曲と記載した道路標識前を通過。11時27分、高速道路下を潜る。11時38分、民家がある榎曲バス停、集会場前を通過。11時40分、高速道路を潜る。11時47分、86mあるレンガ造りの榎曲トンネル（近代化遺産周遊ルート（万歩計で109歩））を潜る。



榎曲標識（私の榎に一字がつく地名で強く印象に残る）、レンガ造りのトンネル

11時53分、105歩ある瀬河内（うそこうち）トンネルを通過。山道が続く。12時26分、瀬河内を記した地名前を通過。この辺りの気温は20℃とあった。12時58分、日吉神社前を通過。ここでもお参りをする。13時2分、高速道路下を潜る。ここから、高速道路から離れた路筋となる。13時10分、敦賀市新保という地名前を通過。長い山道を淡々と歩く。水分の補強をしたいが、自動販売機の姿なし。13時41分、田植えをしたばかりの水田前を通過。13時51分、万歩計で1,692歩ある長い長い「木ノ芽峠トンネル」を通過する。通過時間に26分要する。このトンネルを抜けると、南越前町板取（14時20分）であった。少し歩いた先で国道365号（北国街道）と合流する。14時35分、今庄365スキー場前を通過。



今庄 365 スキー場の看板      板取の看板（JR 今庄駅まで 8 km）

その先から JR 今庄駅まで 8 km あるのに驚いた。14 時 42 分、板取の宿前を通過。15 時 15 分、木々の足場が顕著に現れた前を通過。15 時 21 分、南越前町孫谷という地名に到達。道路工事現場があった。ここから民家が広がる。15 時 30 分、北国街道南の玄関口今庄孫谷の看板を目にする。15 時 58 分、大門という地名で 28℃ と記した前を通過。越前市まで 21 km とあった。夜叉の池（14 km）、広野ダム（9 km）への案内板もあった。



孫谷      県道 207 号への交差点      南今庄駅

民家が多いにも関わらず、自動販売機の姿は見えず。16 時 11 分、合波（お乳の里/信露滝の水）を通過。16 時 18 分、今庄の地名が登場。もう少しで待望の南今庄駅に到達できると自問自答する。左手に鉄道が出現するのに注意する歩きとなる。16 時 23 分、県道 207 号に繋がる交差点前に到達。16 時 26 分、北陸道踏切を横切る。16 時 30 分、待望の自動販売機を見つける。水分補充し、南今庄駅発 16 時 55 分の電車に間に合うよう小走りが続く。トンネルが続いたあと、鉄道が左手に見える。駅舎を探しながら鉄道に沿った路筋を歩く。16 時 53 分、南今庄駅に到達。下りの特急電車が通過する場面に遭遇する。電車は 3 分位遅れているとのアナウンスがある。16 時 55 分の電車で福井駅に向かう。福井駅には 17 時 54 分到着。駅前の東横イン（18 時過ぎ、411 号室）にチェックイン。



ホテルでお薦めの店“弥吉”を紹介してもらい、本日の疲れを癒す。本日の営業キロは16.6 km、万歩計は33,272 歩であった。久しぶりに一駅が遠い遠い区間であった。また殆どの鉄道がトンネルであったので心身ともに疲れた。しかし、無事踏破でき達成感をひとしおであった。その心境を居酒屋の仲間に話す機会がなく喜びがなく半減したが。ただ、店の係りの方に発信できたが・・・。

### 第3節 2日目：6月6日（木）：南今庄～福井 晴れ



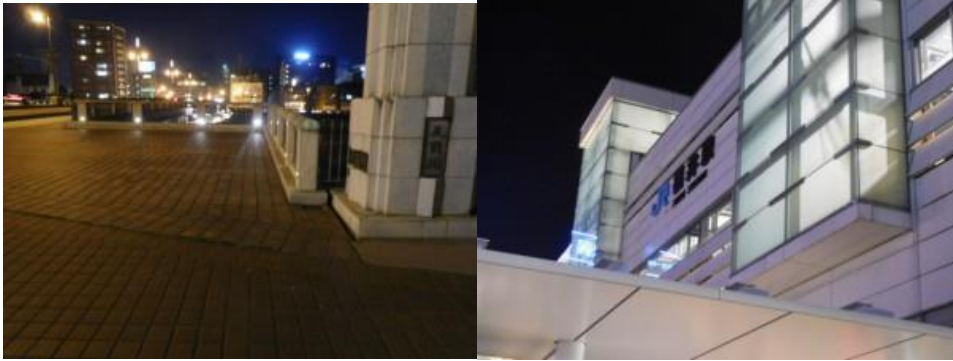
福井駅



南今庄駅

2019年6月6日（木）、北陸本線である南今庄駅から福井駅までである営業キロ37.4 kmを、各駅舎に立ち寄りながら歩く。各駅舎に立ちつた際の到達時間は次の通り。お蔭様で全駅舎立ち寄りに成功する。久しぶりに35 km越えができ、まだまだ足腰が丈夫であることに自信を深めると同時に天や神に感謝あるのみ。もしかすると数十年間、週2回のジョギング（1回当り15 km位）と牛乳を毎日900ml近く飲み続けているのが功を奏したのかも知れない。そして、丈夫な足腰を生んでくれた両親に感謝あるのみ。これからも天命と思ひ、1日でも長く”全国鉄道つたい歩き”を続けたいものである。そのためには、私の人生哲学の一つとしている”遊学働”を大切にしたい。

南今庄（8時21分）～今庄（9時5分）～湯尾（10時26分）～南条（11時23分）～王子保（12時40分）～武生（13時55分）～鯖江（15時32分）～北鯖江（16時37分）～大土呂（18時14分）～越前花堂（19時12分）～福井（20時8分）



足羽川

福井駅

強く印象に残ったスポットは次の通り。

- ①南今庄から湯尾駅までは山越えもあったが、湯尾駅からは概ね平坦な道筋を歩くことができた。
- ②武生駅からは福井鉄道福武線が続いており、路地歩きを楽しむ機会が多くなった。一方、めがねの鯖江界限は企業が多く、随所で迂回を余儀なくなれた。
- ③今庄駅は北国街道の要とのことで、歴史的な足跡を随所で感じた。
- ④北鯖江駅から大土呂駅間は長く感じた。
- ⑤北陸新幹線の工事が進められていた。



北陸新幹線工事の現場

詳細な歩きメモは以下の通り。5時過ぎに起床し、6時半ロビーで朝食を済ませ、福井駅7時42分発の電車で南今庄駅に向かう。電車は4番ホームから出る2両編成のワンマンカーであった。7時14分乗り込む。電車の中は高校生で一杯。大半が鯖江駅で下車する。到着するや否や、南今庄駅には「つるし柿の里」の看板が目についた。



南今庄駅（つるし柿の産地）

昨日歩いた道筋（県道 207 号今庄杉津線）を 20 分位歩く。8 時 51 分、昨日の自動販売機前を通過。少し行った先で今庄宿、旧北陸線トンネル郡の看板前を通過。その先に“かひる橋”があった。8 時 53 分、今庄宿があった。かつての宿場町風の街並みが続く。8 時 58 分、稲荷神社前を通過。9 時 5 分、本日最初の今庄駅に到着する。



県道 207 号標識、今庄宿



今庄駅 今庄駅の観光案内所

北国街道今庄宿の歴史の足跡を肌身で感じる。駅舎内にある観光案内所で記念写真を撮って頂く。同時にこの案内所に数分滞在し、掲示物閲覧しながらデジカメに収める。駅舎には車庫もあり、大きな駅舎であった。9 時 15 分、今庄児童館前を通過。その先

で右手に特急電車と対面する。9時17分。ミラーにある自分をデジカメに収める。その先で鉄道下にあるトンネルを潜り国道365号線に合流する。



湯尾駅

南条駅

9時23分、今庄中学校前を通過。その先に今庄小学校があった。9時39分、山、海、里を記した看板前（南越前町）前を通過。9時43分、146歩ある日野川（燧大橋：ひうち）を渡る。川の水が印象に残る。9時48分、越前市の看板がある。9時51分、南越前町湯尾と記した道路標識前を通過。9時55分、八乙女前を通過。その先で路地の道筋に切り替える。しかし、ここから湯尾駅は遠かった。10時1分、明治天皇御小休と記した前を通過。10時5分、湯尾小学校前を通過。10時9分、松がユニークな民家前を通過。10時11分、湯尾宿高礼場跡前を通過。10時15分、山王太鼓を描いた絵画前を通過。10時21分、高速下を潜る。10時26分、やっと山小屋風の湯尾駅に到着する。10時37分、高速下を潜る。10時40分、「気をつけて/またのお越しを/北陸道今庄」の看板を後にする。10時43分、左手に2両編成の電車と対面する。10時46分、「花はすの郷/南条」の看板前を通過。10時56分、敦賀方面に向かう特急電車と対面する。11時4分、右手には日野川に沿って桜並木がある地点を通過。11時8分、関ヶ原をもじったとも思える関ヶ鼻前を通過。11時10分、日野川にあるユニークな橋を見つける。11時23分、幹線道路にほぼ面した南条駅に到達。駅舎内をデジカメに収める。11時51分、用水路で小魚の姿を捉える。幼少の頃を思い出す機会を得る。11時54分、脇本活性化センター前を通過。12時2分、北陸新幹線工事現場前を通過。道筋には懐かしい用水路が続く。田植えしたばかりの水田が続く。12時21分、越前市となった武生市とある標識前を通過。12時26分、今宿南バス停（市民バス）前を通過。12時36分、王子保小学校前を通過。12時40分、王子保駅に到着。駅舎の中には王子保っ子作品展があった。水田の道筋を歩く。12時56分、白山神社がある。参道を歩く。



王子保駅 武生駅

12時59分、竹越踏切を横切り、鉄道の左側となる。13時47分、専林寺（真宗三門徒派）前を通過。13時24分、越前市畷町（なわてちょう）を通過。近くに八幡神社祭礼の旗があった。13時49分、銀座通りを通り、武生駅には13時55分到着。駅前はやかであった。種々のアングルから武生駅をデジカメに収める。少し行った先に福井鉄道の武生駅もあった。ここから路地歩きと工場地帯の歩きの併用となる。福井鉄道の踏切を横切る。



福井鉄道（武生駅） 鯖江駅への路

14時23分、信越化学の工場がある。14時38分、出窓を活用したガーデン前を通過。14時53分、日野川の土手に出る。暫く土手沿いを歩く。14時58分、白鬼女橋（207歩、しらきじょ）を渡る。15時4分、舟津町5丁目区の掲示板前を通過。15時7分、JR鯖江駅への道路標識を見つける。ここから結構鯖江駅まで遠かった。15時19分、武内舟江神社と記載した石像前を通過。15時25分、武内舟江神社があり。15時32分、めがねの街を前面に出した鯖江駅がある。



鯖江駅

北鯖江駅

15時40分、三井生命から社名変更した大樹生命がある。16時長泉寺交差点から右往左往の歩きとなる。16時7分、国道8号線を歩く。16時12分、くろづがわの標識前を通過。16時22分、線路に沿った路筋に出る。電車と対面する。16時27分、水落踏切を横切り鉄道の右側となる。16時33分、みずほ保育園前を通過。16時37分、北鯖江駅東口に到着。駅の通路を経由して西口に出る。西口の方が開けていた。JR北鯖江駅のバス停もあった。朝のメモに失敗。16時52分、日華化学の鯖江工場がある。16時54分、御幸北バス停前を通過。前方に高架した道路があり。この道路に乗らないと川を渡れない。少し当惑していたところ、道路の手前につながる通路がありホットする。17時3分、142歩ある橋を渡る。この橋は国道8号線であった。17時12分、東鳥羽で国道を離れ右往左往する。17時16分、東鳥羽のバス停前を通過。17時20分、水車前を通過と。しかし、大土路駅に繋がる道筋はなし。結果、17時27分国道に戻る。17時34分、左手に500m位先の電車を捉える。17時37分、鷺をデジカメに捉える。17時42分、福井高速運輸前を通過。トラックの荷台の位置が敷地から大きくずれ、3m位ある川まで達していた。この近辺で大土呂駅の道筋を聞く。まだまだ遠いとのことであった。北陸自動車学校を越え、踏切を渡った先を左折した先に目標の駅があるとのことであった。しかし、国道に面した地点の目印の説明はなかった。これまで第六感を前面にして、半信半疑で歩く。運よく18時3分、右折した先に先程教えて頂いた道筋が登場する、18時8分、北陸自動車学校前を通過。18時10分、半田踏切を横切る。18時14分、やっと大土呂駅に到着する。駅前には半田町ふれあい会館があった。



大土呂駅

越前花堂駅

18時18分、神明神社があった。18時23分、特急電車と対面する。18時41分、上り特急が四ヶ踏切を通過して行く。踏切を横切り鉄道の左側を歩く。辺りもうす暗くなったので、極力線路の傍を歩く。しかし、〇m位の川がありこの川を渡る橋がない。300m位迂回を余儀なくされる。3分位歩き、18時59分、やっと橋を渡れる。19時12分、越前花堂駅に到着。辺りは相当暗くなっていた。右往左往した結果、福井鉄道の踏切を横切り鉄道の左側となる。19時40分、前方を福井鉄道の電車が通過して行く。19時54分、由利公正像前を通過。19時55分、198歩ある足羽川を渡る。福井駅には20時8分到着。ホテルには20時17分到着。万歩計は73,200歩だった。夕食は昨日の弥吉で祝杯をあげる。ホテルに帰り、マッサージを頼む。昨年と同じマッサージ師(浅野さん)と対面する。人生の神秘性を感じる一日でもあった。本日の歩きは37.4km。これで今回の目標であった敦賀～福井までが繋がる。加えて、米原から金沢が繋がり、達成感に浸る。



東横イン

福井駅



永平寺

#### 第4節 3日目：6月7日（金）：永平寺観光 雨

2019年6月7日（金）、2泊3日の北陸の旅は、曹洞宗大本山「永平寺」参拝で締めとなった。本来ならば、昨日踏破した南今庄から福井の間を一部残した部分の対応を考えていたが、天気予報が本日は雨とのことで、急遽昨日で踏破を終える計画に変更。最近の雨はどしゃ降りが多いので行動に制限を受ける。それを受け、本日は観光のみに変更。観光をどこにするか色々考えた結果、大学時代一度参拝した永平寺とする。福井駅から永平寺までは、バスで移動。運よく”一乗谷朝倉氏遺跡”を經由したコースであったので、一挙兩得したような心境にもなった。観光バスの乗客は6名。そのうち、4名が朝倉氏遺跡で下車する。若干ではあるが寂しい思いがする。本年2月に家内と旅した貸切状態であった沖縄を思い出したからだ。



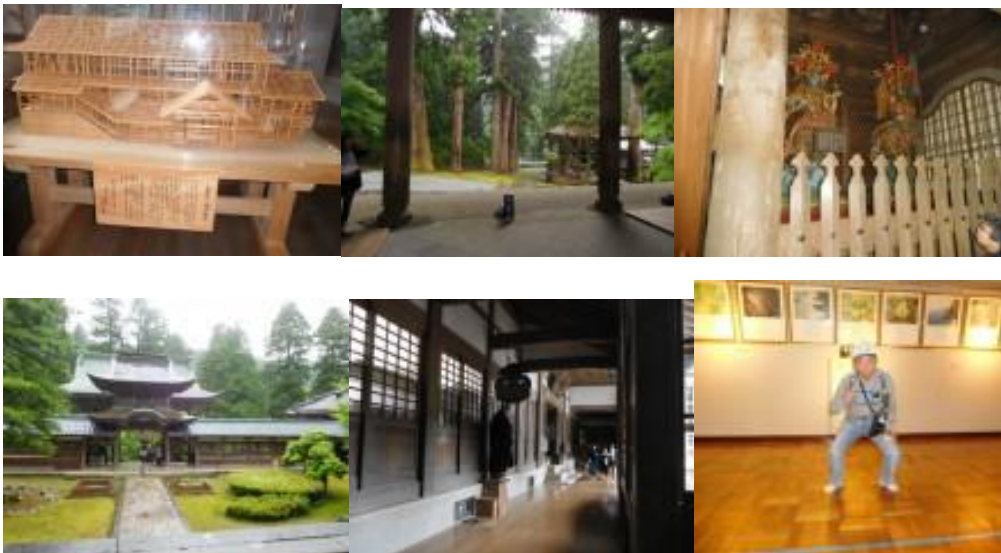
絵天井の大広間 庭園





階段で続く廊下

40 数年振りであったので、永平寺への記憶は全く忘却していた。バスで山間を通った先に永平寺があった。5月連休観光したマザー牧場への行程に似ていた。ここでも徒歩で参拝するのは大変であることを痛感。真言宗の総本山である高野山と同じように、永平寺が広大な境内の中にあるのに先ず驚いた。特に、各寺院が廊下で複雑に繋がっているのにはビックリ。雨であったので、大いに助かった。大広間で永平寺施設の解説をして頂いたあと、絵天井の大広間を皮切りに、約1時間にわたり複雑な廊下を巡回し永平寺内を参拝する。雨の中の庭園は心に残るものがあった。



往路は一休の店員の方に永平寺の山門まで車で送迎頂く。雨の中で助かる。復路は徒歩で500m位続く参道を下り、バスターミナルがある”一休”という休憩所前まで向かう。運よく復路の時は、雨が上がっていた。一休に立ち寄り、名物の越前蕎麦を頂く。この

店で暫く休ませて頂いたあと、12時30分のバスで福井駅へ。バスの乗客は私を含め2名。平日とは言え寂しい限り。



永平寺玄関口前 “休憩所” 一休”

足下が悪いこともあり、帰路への時刻を4時間早め、福井発13時36分のしらさぎ60号に切り替える。車中でいつものことながら、ささやかな祝杯あげ自宅に向かう。今回の旅は雨に遭遇したが、米原から金沢まで繋がったし、永平寺も参拝でき大満足。また、一昨日と昨日、ホテル界隈の”弥吉”で郷土料理と地酒を堪能できた。加えて、偶然にも昨年マッサージをして頂いた方と巡り会えた。”人生って不思議なものですね”を痛感する旅でもあった。天や神に感謝あるのみ。



福井駅



しらさぎの中で祝杯